

生命環境総合研究所講座

開催日時	講師	テーマ・内容
<p>第39回 6/28(土) 14:30~16:30</p>	<p>高井 明德 (大阪信愛女学院短期大 学教授 理学博士)</p>	<p>染色体からみた生命</p> <p>染色体は遺伝子の化学的本体であるデオキシリボ核酸(DNA)を保持する構造体であり、遺伝子のはたらきにも深くかかわっている。ヒトの正確な染色体数が$2n=46$であることが明らかにされたのは、DNAの構造が解明された後の1956年であった。その後、先天性疾患が染色体異常によって生じることや、がんの発生に染色体の変化が関わっていることなど、染色体と疾患の関係の解明が急速に進んだ。1990年代になると遺伝情報の解読(ゲノムの解読)が進み、全染色体における全遺伝情報が明らかにされ、DNA、遺伝子、染色体の関係が急速に明らかになってきた。本講座では、染色体からみた生命の姿について解説する。</p>
<p>第40回 9/13(土) 14:30~16:30</p>	<p>西 節子 (大阪信愛女学院短期大 学准教授)</p>	<p>在宅での看護</p> <p>急激な高齢化社会となりつつある、昨今、“病気になるでも、病院には長く入院してはられないし・・・”“入院するほどでもないけれど、病気の事がちょっと心配・・・”といった声を耳にします。そんな時どうすればよいのか。ご安心ください。“在宅看護って何なの?”“看護師さんが家に来て何をやるの?”そんな皆様の疑問を解決できればと、このたび、介護保険の事、訪問看護の事、を皆様と共に考えて、お役に立てればと思っています。 講演終了後、在宅看護についての相談会を行います。</p>
<p>第41回 11/15(土) 13:30~15:30</p>	<p>寺田 裕美子 (笑福庭代表、大阪信愛 女学院短期大学客員教 授、兵庫県立淡路景観 園 芸学校非常勤講師、京 都造形芸術大学日本庭 園・歴史遺産研究セン ター客員研究員 アメリカ園芸療法協会認 定園芸療法士) 本学卒業生園芸療法士 他</p>	<p>園芸療法講座 ワークショップ「様々なニーズにあわせた園芸療法の紹介」 認知症高齢者と在宅看護・地域生活・ひきこもり青年支援など</p> <p>園芸療法の魅力の一つに、多様なニーズに対応できる点があげられています。認知症の家族を抱え、家庭内で関わり方を見失いつつあった関係性が、植物の世話を通して共通の話題で楽しく前向きに過ごすことができるようになった。10年間引きこもっていたが、自分でもできる植物の栽培技術を学び、野菜や草花の育ちを街行く人に喜んでもらえたことが1年間庭に毎日足を運びきっかけとなった。在宅で長年、ベッドの上では何もすることが無く、もうできないと感じ、家族との会話も少なくなっていたが、ベッドサイドで押し花を使って庭をデザインすることで、季節毎に変わる窓からの景色が毎日を心楽しいものに変えていったなど。これらは、園芸療法士が日々現場で出会うクライアントさんや家族との関わりの成果が良い方向に向かっていると確認できる場面です。どのようなニーズに対して、どのようにサポートが行われているのか、それぞれの現場で活躍する園芸療法士にワークショップを通してお話と実践をご紹介します。</p>

児童教育研究所講座

開催日時	講師	テーマ・内容
第24回 6/7(土) 10:00~12:00	吉田 巽 (大阪信愛女学院短期 大学教授、大阪信愛女 学院短期大学児童教育 研究所長)	「障がいのある子どもの理解～知的障がいの理解を中心に～」 本学の児童教育研究所が、地域の方々に向けて行っています教育相談 では、障がいのあるお子様の保護者の悩みの一つに「もう少し周囲の人た ちに、こんなことをわかってほしいなあ」という声をよく聞きます。 そこで今回は、障がいのある子どもの理解について、知的障がいの場合 を中心に話したいと思います。心のバリアフリーが広がっていくことにより、 障がいのある子どもたちが暮らしやすくなることを願いながら。

親子参加型の講習会(主催 鶴見区役所保健福祉課 子育て支援室)

未就学児親子が身体を動かしながら楽しく学べる講習会

2/25(水) 10:30~12:00	舟井賀世子 (大阪信愛女学院短期 大学非常勤講師)	「芯材であそぼう!!」
	大阪信愛女学院短期大 学「幼児歌遊び研究会」	歌遊び
3/4(水) 10:30~12:00	楠本未来 (大阪信愛女学院短期 大学非常勤講師)	「幼少期からの歌うという自己表現～人生の幸福感を得るために～」
	大阪信愛女学院短期大 学「幼児歌遊び研究会」	歌遊び